

外国人材に活躍してもらおうための 組織づくりとマネジメント法

参加 対象

- 外国籍社員に対するマネジメント力を身につけたい方
- 外国籍メンバーとプロジェクトを進めるリーダーの方
- 外国人技能実習生や留学生アルバイトを受け入れている方
- 外国籍社員の採用を検討・実施している人事の方

※ 日本人（日本企業の文化をベースにした方）が、日本において外国籍メンバー（主にアジア圏出身者）のマネジメントをすることを前提にしています。

ねらい

グローバルなビジネス環境が加速する中、人財の質と数の不足から企業における外国籍社員の採用がますます増え続けています。

本セミナーは、**外国籍メンバーをマネジメントする方を対象に、外国籍社員との価値観の違いや特性を理解し、適切な組織づくりや指導法を習得していただくことを目的に開催します。**日本語が堪能で、チームに溶け込んでいる（ように見える）ため、考え方や行動の違いにとまどい、思わぬ反応を受けた経験のある方も多いのではないのでしょうか。特に、日本人の従来型の曖昧なコミュニケーション方法や特有の価値観ではトラブルも引き起こしかねません。そこで、グローバル企業でのマネジメント経験と外国人留学生への豊富な指導経験を持つ講師が、**受講者の苦手意識を払拭し、異文化マネジメントへの理解を深めます。**

特長

- 講義とワークショップが密接にリンクした構成で理解を深めます。
- 現状レベルに合わせた、実践的な対応法をその場で習得できます。

プログラム [時間] 10:00～17:00（昼食時間 12:30～13:30）

1 日本で働く外国人の現状と マネジメントの課題

- ① 外国人材活用の現状
 - ・日本で働く外国人のトレンド
 - ・国籍別の割合
 - ・いま現場で起こっている問題点

2 日本人との違いに関する基礎知識

- ① 日本人との特性の違い
 - ・時間の厳格さ
 - ・親近性
 - ・日本人に対する理解
- ② 定着させるためのアプローチ方法
 - ・社内態勢づくりの重要性
 - ・転職に対する考え方
 - ・キャリアパスへのこだわり

3 国・文化ごとのマネジメント法の違い

- ① 国・文化ごとの特性と価値観
 - ・中国人、台湾人、韓国人
 - ・ベトナム人、フィリピン人、ネパール人 ほか
 - ・イスラム教徒に関する基礎知識と対応
- ② 国ごとのマネジメントのポイント
 - ・NG対応の具体例
 - ・多国籍メンバーのチームビルディング **グループワーク**

4 外国籍メンバーに対するコミュニケーションと指導法

- ① 異文化コミュニケーションの前提
 - ・コンテキストとは
 - ・自己評価の日本人との違い
 - ・2割カスタマイズの鉄則
- ② コミュニケーションを改善する方法
 - ・外国人向け話法
 - ・笑顔の重要性
 - ・代表的な NG ワード
 - ・「やさしい日本語」の作り方
- ③ 外国籍社員に対する指導ポイント
 - ・マイルールの明示
 - ・「利」の強調
 - ・言語化5割増しの鉄則
 - ・ほめ言葉サンドイッチ法

グループワーク

5 異文化マネジメントのケーススタディ

- ① 異文化マネジメントのトラブル事例
 - ・指示の仕方を誤ったケース
 - ・叱咤激励が逆効果になったケース
- ② 相手の既知を知ることの重要性

6 実践トレーニング

- 新しいルールを徹底させたいケース **グループワーク** **フィードバック**
- 評価に不満のある部下を納得させるケース **グループワーク** **フィードバック**

7 まとめ／質疑応答

※ プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

開催日時 [時間] 10:00～17:00

2025年9月11日(木)

2026年2月6日(金)

形式

Zoom によるオンラインセミナー

講師 (敬称略)

千葉 祐大 一般社団法人
キャリアマネジメント研究所 代表理事

1970年生まれ。花王株式会社を経て現職。2006年よりコンサルタントおよび講師業を始め、現在は全国の企業、自治体、教育機関で年間80回以上、外国人材をテーマにしたセミナーや研修に登壇している。これまで59か国・地域、延べ6000人以上の外国人材を指導した経験があり、異文化マネジメントに精通している。とにかくわかりやすい講義に定評がある。

【おもな著書】「小さな会社の外国人活用の教科書」（ぱる出版）「異文化理解の問題地図」（技術評論社）「今日も異文化の壁と闘ってます 違いを乗り越えて仲間になる！外国人材マネジメントのツボとコツ」（三笠書房）

参加料 (税込)

法人会員…55,000 円/1名

会員外…66,000 円/1名

